白山温泉郷国民保養温泉地計画書

平成 30 年 8 月 環境省

一目 次一

1.	温泉地の概要	1
2.	計画の基本方針	3
3.	自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	3
4.	医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の 配置計画または同医師との連携のもと入浴方法の指導ができる人材の配 置計画もしくは育成方針等	4
5.	温泉資源の保護に関する取組方針	5
6.	温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	6
7.	温泉地の特性を活かした公共的利用増進に関する方策	7
8.	高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	10
9.	災害防止計画に係る計画及び設置	12
添付	t	

国民保養温泉地位置図及び区域図

1. 温泉地の概要

自山市は石川県加賀地方の中央部、県都金沢の南西部に位置し、白山山系に沿い、富山県、岐阜県、福井県と接している。

自山より流れ出た手取川により形づくられた扇状地が広大な平野を形成しているが、 面積的には市域の大部分を山間部が占めている。また、白山周辺は、白山国立公園、白山 ユネスコエコパークに指定され、さらに、白山山頂から日本海まで、標高差と環境変化に 富んだ市全域が白山手取川ジオパークとして認定されている。



白山国立公園



白山市全景(手前は、日本海)

自山温泉郷は、山間部に点在している手取温泉、岩間温泉、及び中宮温泉からなり、温泉施設のある場所としては手取地区、一里野地区、新岩間地区、岩間地区、中宮地区の5地区に分けられる。いずれも白山を源とする、手取川の本流、支流の沿岸に位置しており、豊かな自然に恵まれた地域である。

白山麓一帯は、全国でも有数の豪雪地帯であるが、これら温泉地では冬のスキーや夏のトレッキングなど、地勢を活かしたレジャーを楽しみながら、温泉を利用することで心身のリフレッシュを図ることができる保健休養地として親しまれている。

(1)手取地区

手取温泉は、平野部から山間部に向かう経路上にあり、白山の ふもとにありながら、比較的平坦な場所に位置している。

温泉施設として、平成4年に旧鳥越村により「バードハミング鳥越」が設置され、現在、日帰り入浴施設やテニスコート、バーベキュー場を有しており、豊かな自然の中、温泉による保養とスポーツを気軽に楽しめる温泉地として多くの人が訪れている。手取温泉については、2本の源泉あわせて約150%/分の湧出量があり、泉質はナトリウム・カルシウムー硫酸塩泉に分類され、やけど、傷、痛風などに効果があると言われている。



手取峡谷

(2)岩間地区

岩間温泉の源泉は白山国立公園内に位置し、工事用道路が通るほかはほとんど手付かずの自然に囲まれた場所に位置している。周辺はブナの原生林に覆われ、カモシカやニホンザルなどの野生動物の生息地である。この地には温泉利用施設は無く、無料の露天風呂のみがある。

源泉については、約 320 %/分の湧出量があり、泉質はナトリウムー塩化物泉に分類され、神経痛、慢性皮膚病、冷え性などに効果があるとされている。

(3)新岩間地区

岩間温泉から約3.5 km離れたところにある新岩間温泉と名付けたエリアは、白山登山道の岩間道と楽々新道の起点にある。また、特別天然記念物の「岩間の噴泉塔群」のハイキングの拠点となっている。一軒のみ営業している温泉旅館は、冬季は、積雪のため営業を停止している。



岩間の噴泉塔

(4) 一里野地区

岩間温泉は、約10㎞離れた一里野地区の温泉施設へも引湯されている。一帯は、白山一里野県立自然公園及び白山一里野国民保養地に指定され、様々な公共施設が整備されている。特に「白山一里野温泉スキー場」は、北陸でも屈指のスキー場となっている。



一里野温泉「天領」

(3)中宮地区

中宮温泉は、白山白川郷ホワイトロード料金所の石川県側料金所の間近に位置し、3軒の宿泊施設が存在している。古くより、湯治場として知られており、一帯は白山国立公園

であり豊かな自然に囲まれた静かな環境の中、現在でも湯治目的の利用者も多い。また、夏は冷涼で避暑を目的に訪れる人が多いが、冬季は積雪のため 11 月下旬から4月下旬まで閉鎖される、秘境の温泉としても知られている。

源泉については、 約130%/分の湧出量があり、 泉質はナトリウムー塩化物・炭酸水素塩泉で、古くか ら胃腸病に効果があるとされてきた。



中宮温泉・にしやま旅館

2. 計画の基本方針

白山温泉郷については、地域の概要に記したように手取温泉、岩間温泉を源泉とする新岩間地区、一里野地区、中宮地区から構成されている。このうち一里野地区は白山一里野県立自然公園内に、新岩間地区と中宮地区は、白山国立公園内にあり、それぞれが近距離に位置している。さらに手取温泉については、平野部からそれらの温泉に至る経路上に位置していることから一体的な利用を図ってきた。

これらの地域は現在、保養や休養、スキーなどのレジャーを目的として多くの人が訪れている。今後も来訪者が白山温泉郷に求めている、豊かな自然の中に囲まれて穏やかな時を過ごせる癒しの空間というコンセプトを守り、景観や雰囲気の維持に配慮していく。 そのためにも以下の考え方に基づいた取り組みを展開していく。

- (1)自然景観の保持を図り、施設の整備についても周辺環境との調和を図りつつ行うとともに、歓楽地化を防ぐ
- (2)温泉資源の保護のため、泉質、泉温の変化、湧出量の減少に目を配り、温泉の有効利用を図る
- (3)地域内の歴史や伝統文化の継承に努める

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1)自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

手取温泉地区は県都金沢から比較的近くに位置し、かつ、白山を源とする手取川により形作られた手取峡谷の中心に位置している。白山麓エリアにありながら、地形は比較的平坦で、周辺には水田が広がっている。手取峡谷は、高さ 20~30m の岸壁が約8km続く美しい景勝地で、自然の素晴らしさを堪能することができる。近くには加賀一向一揆最後の拠点となった鳥越城址があり往事をしのばせている。

岩間温泉は白山国立公園内にあり、源泉地までは徒歩の外移動手段がない、非常に自然度の高い地域である。

岩間温泉から引湯されている新岩間地区については、標高 750mの急峻な山中に位置 しており、深い谷と山地に囲まれた、やはり自然度が非常に高い地域である。冬季は積 雪が著しいため閉鎖されている。

一里野地区も新岩間地区同様に岩間温泉から引湯されているが、手取川の支流にあたる尾添川の左岸に位置する。白山一里野県立自然公園の中にあり、地形は河岸段丘に起因する緩傾斜地で、その地形を利用して昭和51年に「白山一里野温泉スキー場」を開設した。以降、テニスコートや体育館等の運動施設を整備し、保健休養地として親しまれている。

中宮温泉地区は、白山国立公園内、白山白川郷ホワイトロードの石川県側料金所入口間近に位置している。また、白山自然保護センター中宮展示館からも近く、周辺では野

生動物も多く見ることができる。急峻な山と湯ノ谷川に挟まれた地に温泉施設が並び、静かな温泉地を形成している。約 1300 年前に泰澄大師が、傷ついた白鳩が谷川で羽を休めているのを見て発見したと伝えられており、古来より、胃腸の湯として知られて、多くの湯治客が訪れている。

なお、ここも新岩間地区同様、冬季は閉鎖されている。

(2)取組の現状

中宮温泉地区、岩間温泉地区、新岩間温泉地区については白山国立公園内に、一里野温泉地区については白山一里野県立自然公園内に位置しており、自然公園法(昭和 32 年法律 161 号)に基づき、各温泉地内の自然環境が保たれている。また、それぞれの温泉地においては利用事業者からなる協会や協同組合により景観保全のための美化清掃活動が取り組まれている。さらに、白山市においては良好な景観形成を推進するため、平成 22 年に「白山市景観条例」を制定し、建築物の意匠・色彩等の基準を定めたうえで、全市域を景観計画区域として景観保全に努めている。

(3)今後の取組策

自山温泉郷については、今後も自然環境、まちなみ、歴史、風土及び文化等の保全を図るため、関係機関と調整のうえ、現状の取り組みを継続するとともに、各温泉地の事業者で構成する協同組合、協会が連携しつつ歓楽地化を防ぐとともに、来訪者の利便性に配慮した施設整備により、自然にあふれた温泉地の形成に努めていく。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画または同医師との連携のもと入浴方法の指導ができる人材の配置計画もしくは育成方針 等

(1)医師又は人材の配置の状況

白山温泉郷では医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師 については、公立つるぎ病院吉野谷診療所に勤務する医師としている。また、温泉入浴 指導員についても配置している。

① 医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
公立つるぎ病院	内科	湯治客の体調不良等に対応	H7 \sim
吉野谷診療所			
所長 橋本 宏樹			

② 人材

資格	人数	活動内容	配置年度
温泉入浴	2	温泉利用の安全かつ適切な	$\mathrm{H}22{\sim}$
指導員		指導を行う	

(2)配置計画又は育成方針等

自山温泉郷においては、(1)の医師及び人材の配置を継続する。さらに、健康増進及 び疾病予防のための温泉利用について安全かつ適切に指導するための人材として、温 泉入浴指導員の資格を有する者の増員を図る。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1)温泉資源の状況

白山温泉郷では、現在、4本の源泉が14件の宿泊施設と2件の日帰り入浴施設に利用されている。

源泉	温度	湧出量	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
	(℃)	(l/min)				
手取地区						
手取温泉	32.3	40.4	ナトリウム・	動力揚湯	白山市	日帰入浴施設1
5 号源泉			カルシウムー			
			硫酸塩泉			
手取温泉	29.4	103.9	ナトリウム・	動力揚湯	白山市	
6 号源泉			カルシウムー			
			硫酸塩泉			
新岩間地区	· 一里野	地区				
岩間温泉	55.0	320.0	ナトリウムー	自然湧出	白山市	宿泊施設 11
			塩化物泉			日帰入浴施設1
中宮地区						
中宮温泉	60.0	130.0	ナトリウムー	自然湧出	中宮温	宿泊施設3
			塩化物・炭酸		泉旅館	
			水素塩泉		協同組	
					合	

(2)取組の現状

自山温泉郷の核源泉において、現在講じているその保護に関する取組の状況は以下 の通りである。

源泉	取 組	実施主体	実施年度
手取温泉 5 号源泉	温度、湧出量、水位の現地観測を	白山市	毎年
	年1回実施		
手取温泉 6 号源泉	温度、湧出量、水位の現地観測を	白山市	毎年
	年1回実施		
岩間温泉	温度、湧出量、水位の現地観測を	白山市	毎年
	年1回実施		
中宮温泉	温度湧出量、水位の現地観測を	中宮温泉旅	毎年
	年1回実施	館協同組合	

(3)今後の取組方策

自山温泉郷においては、現在、温泉湧出状況に大きな変化は出ていないが、将来にわたり維持していくため、上記(2)の取り組みを継続して行いながら、温泉地が一体となって温泉資源の保護に取り組んでいく。

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1)温泉の利用にあたっての関係設備等の状況

自山温泉郷において温泉の利用にあたって使用している設備及び温泉施設の状況は以下の通りである。

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
手取温泉	2	引湯管と貯水槽	1
岩間温泉	1	引湯管と貯水槽	1 2
中宮温泉	1	引湯管と貯水槽	3

(2)取組の現状

白山温泉郷において温泉の利用にあたって使用している設備について、現在講じている衛生面での取り組みは以下の通りである。

設備	区分	取 組	実施主体
源泉	自主的	必要に応じ上記源泉の水質、成分検査等	源泉所有者
		を実施	
貯湯槽	自主的	すべての貯湯槽について、点検を1年に	源泉所有者
		1回、清掃及び消毒を必要に応じて実施	
引湯管		バルブ、ドレン等の点検を不定期に実施	源泉所有者
浴槽	条例等	すべての浴槽について、浴槽水の十分な	設備所有者
		補給・洗浄を保持。	

		すべての浴槽について、完遂を毎日実	
		施。	
		すべての浴槽の浴槽水についてレジオ	
		ネラ属菌等の水質検査を1年に1回以	
		上実施。	
設備周辺	自主的	全ての施設周辺において、随時状況を確	源泉所有者
		認し、必要があれば清掃を実施	設備所有者

(3)今後の取組方針

白山温泉郷において、温泉を衛生的に良好な状態に保つため、実施主体と調整のうえ、(2)の取組を継続するとともに、温泉関係者に衛生面の講習会等に関する情報を提供して、衛生環境の向上に取り組む。

7. 温泉地の特性を活かした公共的利用増進に関する方策

(1)温泉の公共的利用の状況

I 手取温泉

手取温泉は、戦国時代に鳥越城主が愛用した湯治場で傷病の兵士が療養したと伝えられている。昭和25年には地元有志が温泉を掘削し、近隣の娯楽施設、手取遊園とともに発展したことにより、昭和36年には岩間温泉・中宮温泉とともに、白山温泉郷として国

民保養温泉地に指定された。その後、手取遊園の閉園により訪れる人も減っていたが、昭和 63 年にあらためて源泉の掘削を行い、この温泉を利用したクアハウス「バードハミング鳥越」が平成4年にオープンした。

周辺にはテニスコートやバーベキュー施設 も整備され、保養、レクリエーションゾーン として一体的な利用が図られており、現在で は多くの人が訪れている。



バードハミング鳥越

Ⅱ岩間温泉

岩間温泉は、江戸時代中ごろには入浴している人がいたとされるが、源泉地が、ほぼ手つかずの自然の中にあり、その開発は大正期以降である。

現在は、一里野地区と新岩間地区に温泉を供給しているが、一里野地区は昭和 47 年から引湯工事が進められ、現在では白山一里野温泉スキー場を核にテニスコートや体育館を備えた保養地域として多くの人が訪れている。

Ⅲ中宮温泉

中宮温泉は、約1300年前に泰澄大師が、傷ついた白鳩が谷川で羽を休めて体を癒していることから発見したと伝えられている。古くから「胃腸の湯」として知られていたが、明治時代中期から旅館営業が始まったと考えられており、加賀地方の農家や商家の人たちが湯治のために訪れる秘境の温泉であったが、昭和52年の白山白川郷ホワイトロードの開通を機に、より広範囲から多数の観光客が訪れる様になった。近年は、静かな環境の中、ゆったりとした時を過ごしたいという人も増えている中、現代版湯治休暇ともいうべき事業にも取り組み、癒しを求める人たちのニーズを取り込んでいる。

① 過去3年間の温泉の利用者数

(単位:人)

温泉地	区分	2 5 年度	26年度	27年度
手取温泉	日帰	49, 124	38,081	43, 538
岩間温泉	宿泊	19,081	19,846	18,054
石间值水	日帰	21, 257	21, 513	18, 511
中宮温泉	宿泊	6,063	5, 216	4, 998
中 呂 価 氷	日帰	5, 900	8, 902	9,839
∆ ≅I.	宿泊	25, 144	25,062	23,052
合計	日帰	76, 281	68, 496	71,888

② 直近1年間(平成27年度)の温泉利用者数

(単位:人)

温泉地	区分	施設	総定			利用者数		
仙沙区	卢 万	数	員	4月	5月	6月	7月	8月
手取温泉	日帰	1		3,456	3,825	3,088	3,270	3,915
山田油 白	宿泊	11	691	410	827	340	969	2,819
岩間温泉	日帰	1		458	1,444	961	1,148	1,882
由 位 相 自	宿泊	3	165		877	522	659	843
中宮温泉	日帰				1,470	1,118	1,077	1,305
∧ ∋I	宿泊	14	856	410	1,704	862	1,628	3,662
合計	日帰	2		3,914	6,739	5,167	5,495	7,102

	利用者数								
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
3,388	3,720	3,519	3,962	3,820	3,590	3,985	43,538		
1,756	2,476	1,577	858	1,890	2,585	1,547	18,054		
1,625	2,386	657	719	2,087	3,725	1,419	18,511		
667	1,027	403		_	_	_	4,998		
1,143	2,454	1,272		_	_	_	9,839		
2,423	3,503	1,980	858	1,890	2,585	1,547	23,052		
6,156	8,560	5,448	4,681	5,907	7,315	5,404	71,888		

(2)取組の現状

白山温泉郷において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下の通りである。

温泉地	取 組	実施主体
手取温泉	パンフレットなどを作成し来訪者に対し、	白山市
岩間温泉	白山温泉郷を周知	(一社) 白山市観光連盟
中宮温泉		白山一里野温泉観光協会
		中宮温泉旅館協同組合
手取温泉	ホームページや県内外への出向宣伝、エー	白山市
岩間温泉	ジェントへの営業活動などを通して広く全	(一社) 白山市観光連盟
中宮温泉	国へ白山温泉郷を周知	白山一里野温泉観光協会
		中宮温泉旅館協同組合
岩間温泉	温泉地において誘客のための各種イベント	白山市
中宮温泉	を開催	白山一里野温泉観光協会
		中宮温泉旅館協同組合
中宮温泉	温泉水を使用した「おかゆ」や温泉水のペ	中宮温泉旅館協同組合
	ットボトルを販売	
中宮温泉	長期滞在型の湯治プランの実施、湯治に対	中宮温泉旅館協同組合
	応できるような施設への改修、薬膳料理の	
	提供など、滞在者のニーズに合わせたサー	
	ビスへの取組	
手取温泉	国立公園、県立自然公園としての景観保全	国
岩間温泉		石川県
中宮温泉		白山市

	白山一里野温泉観光協会
	中宮温泉旅館協同組合

(3)今後の取組方針

自山温泉郷において、さらに温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉郷の魅力である、 豊かな自然環境、独特な生活様式を始めとする文化などの維持・保全に努めながら、だれも がリフレッシュできる健康保養地としての温泉地をめざし、(2)の取組を継続するととも に、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	取 組	実施主体
手取温泉	アクセス道路の整備・保全	石川県
		白山市
	交流プログラムの企画・実施	白山市
岩間温泉	アクセス道路の整備・保全	石川県
		白山市
	周辺の自然環境を活かした体験・交流プロ	(一社)白山市観光連盟
	グラムの実施	白山一里野温泉観光協会
	温泉入浴指導員を増員し、安全で適切な温	白山一里野温泉観光協会
	泉利用を指導	
中宮温泉	アクセス道路の整備・保全	石川県
	周辺の自然環境を活かした体験・交流プロ	白山市
	グラムの実施	(一社)白山市観光連盟
	温泉入浴指導員を増員し、安全で適切な温	中宮温泉旅館協同組合
	泉利用を指導	中宮温泉旅館協同組合

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1)公共の用に供する施設の状況

白山温泉郷において、公共の用に供する施設の状況は、以下の通りである。

温泉地	区分	施 設
手取温泉	公有施設	・道路(国道157号線、県道手取川自転車動線)
		・日帰り入浴施設1施設
		・バーベキュー場1施設
		・テニスコート
		・老人福祉センター
		・ゲートボール場
		・公園

		・遊歩道			
岩間温泉	公有施設	・道路(国道360号線、白山林道、主要地方道岩間・一里野線)			
		・県立白山一里野自然公園			
		・スキー場1施設			
		・日帰り入浴施設1施設			
		・体育館 1 施設			
		・テニスコート			
		・ラジコン競技場1施設			
		・公園			
		・バーベキュー場			
	私有施設	・旅館14施設(うち温泉未利用が3施設)			
中宮温泉	公有施設	・道路(国道360号線、白山林道)			
		・白山国立公園			
		・遊歩道			
		・旅館 1 施設			
		・中宮ビジターセンター			
	私有施設	・旅館2施設			
		・飲食、物販店舗1施設			
		・足湯施設			

(2)白山温泉郷において、高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組の状況は、以下の通りである。

温泉地	区分	施設	取 組	実施主体
手取温泉	公有施設	道路	温泉地内の道路の修繕及び保守管理	石川県
				白山市
		建築物	日帰り入浴施設において障害者や高	白山市
			齢者の利便性を考慮し、入口スロー	
			プや身体障害者用トイレの設置など	
			バリアフリー化を実施	
岩間温泉	公有施設	道路	温泉地内の道路の修繕及び保守管理	石川県
				白山市
		建築物	日帰り入浴施設において障害者や高	白山市
			齢者の利便性を考慮し、入口スロー	
			プや身体障害者用トイレの設置など	
			バリアフリー化を実施	
	私有施設	建築物	旅館・民宿等の施設において入口ス	施設所有者

			ロープの整備、身体障害者用トイレ、	
			手すり等の設置を推進	
中宮温泉	公有施設	道路	温泉地内の道路の修繕及び保守管理	石川県
				白山市
		建築物	入浴施設において、障害者や高齢者	石川県
			の利便性を考慮し、入口スロープや	白山市
			身体障碍者用トイレの設置などバリ	
			アフリー化を推進	
			公衆トイレのバリアフリー化を推進	
	私有施設	建築物	旅館・民宿等の施設において入口ス	施設所有者
			ロープの整備、身体障碍者用トイレ、	
			手すり等の設置を推進	

(3)今後の取組方策

白山温泉郷において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづくりを図るため、実施 主体と調整のうえ、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	区分	施設	取 組	実施主体
手取温泉	公有施設	建築物	施設の段差解消を図るとともに、こ	白山市
			れが困難な浴室等に手すりを設置	
岩間温泉	公有施設	建築物	施設の段差解消を図るとともに、こ	白山市
			れが困難な浴室等に手すりを設置	
	私有施設	建築物	旅館・民宿等の各事業者の施設にお	施設所有者
			いて段差の解消を図るとともに、こ	
			れが困難な浴室等に手すりを設置す	
			る	
中宮温泉	公有施設	建築物	施設の段差解消を図るとともに、こ	白山市
			れが困難な浴室等に手すりを設置	
	私有施設	建築物	旅館・民宿等の各事業者の施設にお	施設所有者
			いて段差の解消を図るとともに、こ	
			れが困難な浴室等に手すりを設置す	
			3	

9. 災害防止対策に係る計画及び設置

(1)温泉地の地勢及び災害の発生状況

白山市は日本海から白山山頂まで市域に含み、総面積は 754.93 kmで石川県全域の約 18%を占め、県内最大の面積となっている。

自山温泉郷は、市内でも山間部に位置しており、特に岩間温泉から引湯されている新岩間地区及び一里野地区、中宮温泉はすぐ近くまで急峻な山が迫ってきている。また、白山麓一帯は世界でも有数の豪雪地帯であり、一里野地区にはスキー場が設置されているが、中宮温泉は毎年11月下旬から4月下旬まで冬季は閉鎖されている。

かつては、水害等の災害に見舞われたが、近年は温泉地に直接被害を及ぼす災害の発生はない。しかし数年に一回の頻度で、土砂崩れによるアクセス道路の通行止めや引湯管の不具合が起きている。

(2)計画及び措置の現状

自山温泉郷において、現在、災害防止に関し、策定をしている計画及び講じられている 措置は、以下の通りである。

	Ι			
温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要		
手取温泉	白山市地域防災計画	平成18年4月に策定された「白山市地域防災計		
		画」の一般災害対策編において、旅行者などに対		
		する帰宅や移動についての支援、滞在場所の確保		
		などの防災計画が講じられている		
岩間温泉	白山市地域防災計画	平成18年4月に策定された「白山市地域防災計		
		画」の一般災害対策編において、旅行者などに対		
		する帰宅や移動についての支援、滞在場所の確保		
		などの防災計画が講じられている		
	雪崩危険箇所の指定	豪雪地帯対策特別措置法により指定された、特別		
		豪雪地帯に当たり、温泉地のうち新岩間地区1箇		
		所、一里野地区6箇所が雪崩危険箇所に指定さ		
		れ、白山市雪害対策要綱により、防災体制に関す		
		る事項を策定		
中宮温泉	白山市地域防災計画	平成18年4月に策定された「白山市地域防災計		
		画」の一般災害対策編において、旅行者などに対		
		する帰宅や移動についての支援、滞在場所の確保		
		などの防災計画が講じられている		
	土砂災害警戒区域の	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策		
	指定	の推進に関する法律に基づき、温泉地のうち、3		
		箇所が土砂災害警戒区域に指定され、白山市地域		

	防災計画において、区域ごとに警戒避難体制に関
	する事項を策定
雪崩危険箇所の指定	豪雪地帯対策特別措置法により指定された、特別
	豪雪地帯に当たり、温泉地のうち3箇所が雪崩危
	険箇所に指定され、白山市雪害対策要綱により、
	防災体制に関する事項を策定

(3)今後の取組方策

自山温泉郷において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整のうえ、(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

取 組	実施主体
平成 18 年に策定された地域防災計画については、毎年見直しを	白山市
行っているが、それにあわせ、土砂災害警戒区域、土砂災害特別	
警戒区域についても見直していく。さらに、新たな危険箇所が判	
明すれば、随時見直しを行っていく。また、温泉地の地域防災体	
制の充実強化と防災意識の高揚を図ってゆく。	

白山温泉郷国民保養温泉地位置図













